様式第二号の八（第八条の四の五関係）

産業廃棄物処理計画書

2026年 6 月 3 日

茨城県知事　殿

提出者
住　所　茨城県筑西市五所宮1150番地
氏　名　㈱レゾナック　下館事業所（五所宮）
事業所長　田中　秀和
電話番号　0296-28-2222

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１２条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	（株）レゾナック　下館事業所（五所宮）
事業場の所在地	茨城県筑西市五所宮1,150番地
計画時期	2026年4月1日　～　2027年3月31日

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

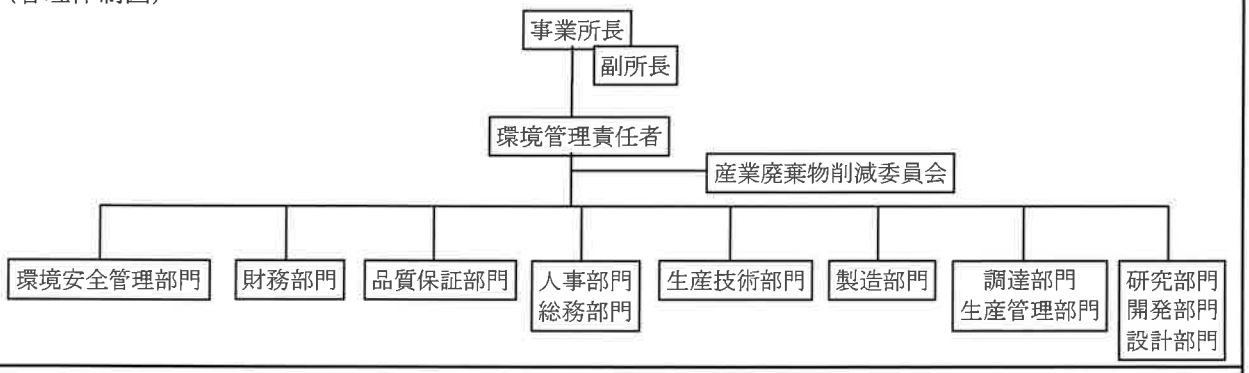
①事業の種類	その他製造業
②事業の規模	前年度の売上高　488.2億円
③従業員数	８３６人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	下館事業所（五所宮） 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 → 委託処理（再生利用業者へ委託：破砕）／委託処理（中間処理：焼却） ｶﾞﾗｽ・陶磁器屑 → 委託処理（再生利用業者へ委託：破砕） 鉄くず → 委託処理（再生利用業者へ委託：破砕） 汚　泥 → 委託処理（再生利用業者へ委託：脱水） 廃　油 → 委託処理（再生利用業者へ委託：再生）／委託処理（再生利用業者へ委託：焼却） 木　屑 → 委託処理（再生利用業者へ委託：破砕） 廃　酸 → 委託処理（再生利用業者へ委託：焼却） 廃アルカリ → 委託処理（再生利用業者へ委託：焼却）

（日本工業規格　A列４番）

茨城県 令-8.6.-3 県西県民センター 受付

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ｶﾞﾗｽ陶磁器屑
排出量	1,224.8 t	1.8 t

（これまでに実施した取組）

・歩留向上による廃棄ロス低減
・濾過方法等見直し、材料凝集起因による外観不良低減
・塗工時の品種切替低減他による切替ロス量低減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ｶﾞﾗｽ陶磁器屑
排出量	1,347.3 t	2.0 t

（今後実施する予定の取組）

・歩留まり向上による不良品・ロス廃棄量の削減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃プラの材質や形態別に、固形燃料、セメント原料、スラグ材、ｻｰﾏﾙﾘｻｲｸﾙに分別実施

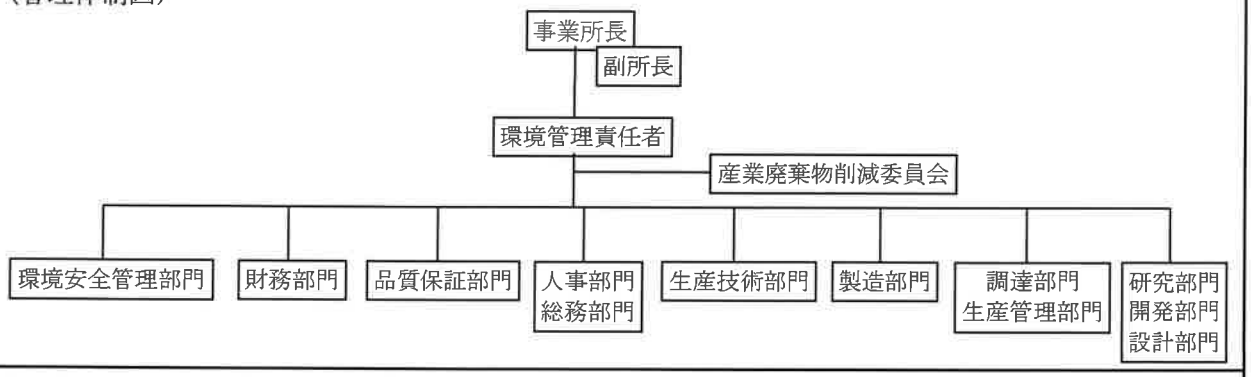
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・廃プラの材質や形態別に、固形燃料、セメント原料、スラグ材、ｻｰﾏﾙﾘｻｲｸﾙに分別実施の継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉄くず	汚　泥
排　　出　　量	14.2 t	32.5 t

（これまでに実施した取組）

・空ドラムの再利用（洗浄業者に有価物として売却し再利用）
・材料を通いコンテナで輸送に切替し、ドラム缶排出量大幅減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	鉄くず	汚　泥
排　　出　　量	15.6 t	35.8 t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・鉄及び非鉄の分別実施の継続

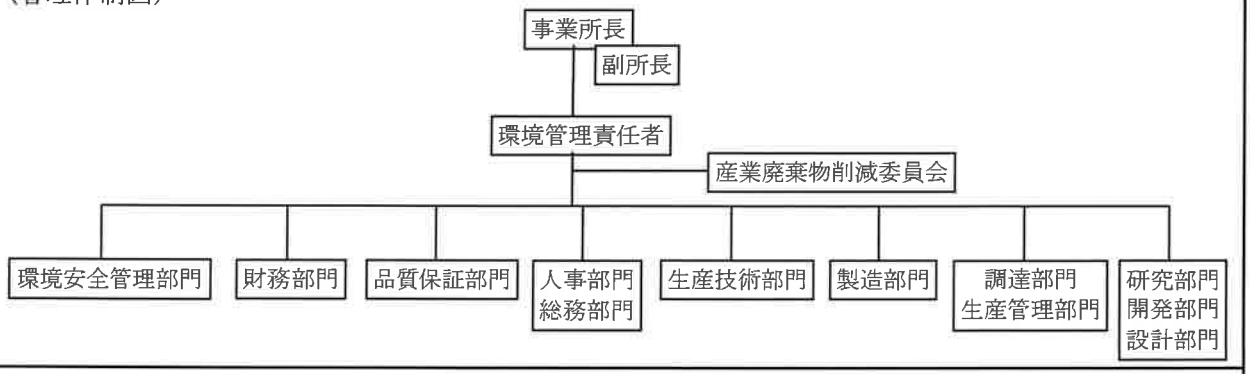
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・鉄及び非鉄の分別実施の継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃　油	木くず
排　　出　　量	16.5 t	99.6 t

（これまでに実施した取組）

・プライマ送液ラインの省材化による廃液低減
・材料期限切れ管理強化による廃棄量削減
・歩留り向上による不良・ロス廃棄量の削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃　油	木くず
排　　出　　量	18.2 t	109.6 t

（今後実施する予定の取組）

・歩留り向上による不良・ロス廃棄量の削減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・ﾄﾞﾚﾝ水中の水及び油の分離実施
・貨物積載用木材ﾊﾟﾚｯﾄとその他の木くずの分別

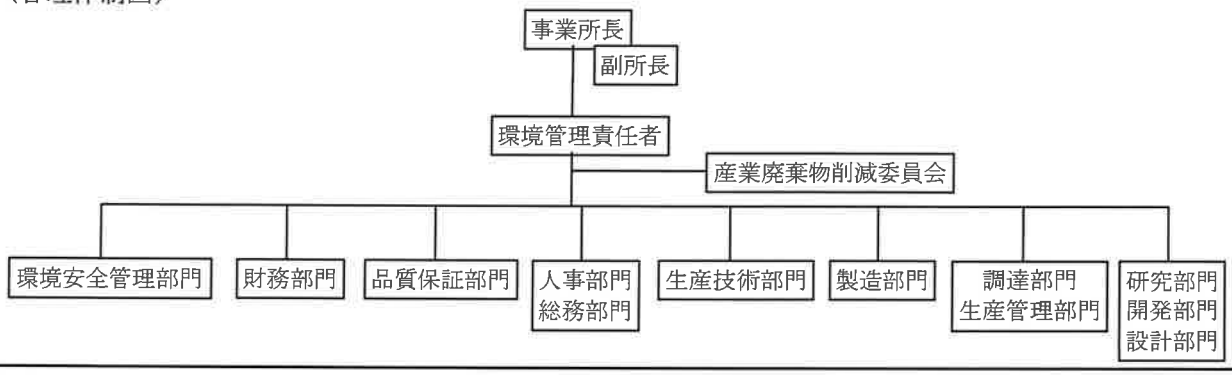
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・ﾄﾞﾚﾝ水中の水及び油の分離実施継続
・貨物積載用木材ﾊﾟﾚｯﾄとその他の木くずの分別継続

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃　酸	廃アルカリ
排　　出　　量	0.4 t	5.0 t

（これまでに実施した取組）

・生産単位最適化による不良ロス低減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃　酸	廃アルカリ
排　　出　　量	0.4 t	5.5 t

（今後実施する予定の取組）

・生産単位最適化による不良ロス低減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・ｐＨ値による特別管理産業廃棄物との選別

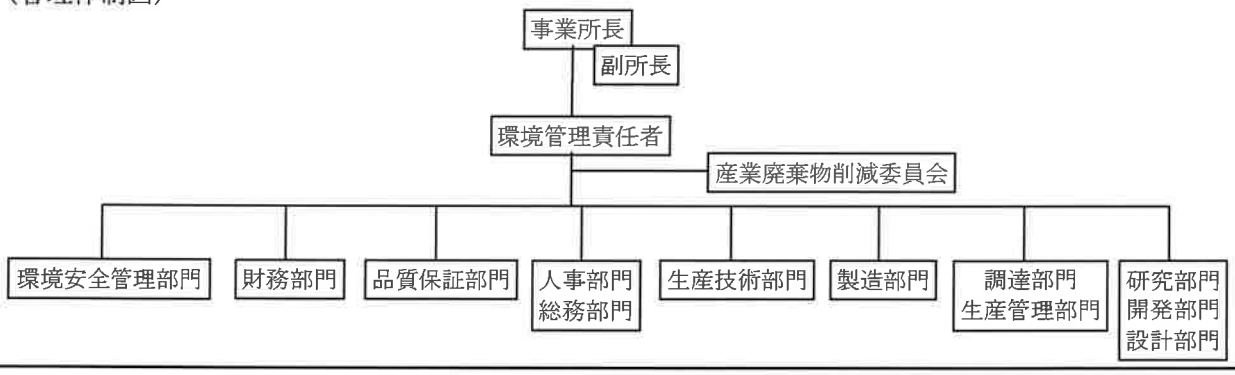
②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・ｐＨ値による特別管理産業廃棄物との選別

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
排出量	0.3 t

（これまでに実施した取組）

・ＬＥＤランプへの切替

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
排出量	0.3 t

（今後実施する予定の取組）

・ＬＥＤランプへの切替

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）のみの置場を確保し、置場を施錠

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）のみの置場を確保し、置場を施錠

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　2025　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　2025　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―	―
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―	―
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―	―

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ｶﾞﾗｽ陶磁器屑
全処理委託量	1,224.8 t	1.8 t
優良認定処理業者への処理委託量	666.2 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	1,126.9 t	1.3 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	97.9 t	0.5 t

（これまでに実施した取組）

・廃プラの材質や形態別に、固形燃料、セメント原料、スラグ材、ｻｰﾏﾙﾘｻｲｸﾙなどにﾘｻｲｸﾙしている処分業者に委託

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―	―

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	鉄くず	汚 泥
全処理委託量	14.2 t	32.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	14.2 t	25.9 t
再生利用業者への処理委託量	14.2 t	30.2 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	2.3 t

（これまでに実施した取組）

・鉄、非鉄再生業者への処理委託

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―	―

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃 油	木くず
全処理委託量	16.5 t	99.6 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t	99.6 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	99.6 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.5 t	0.0 t

（これまでに実施した取組）

・廃油ﾏﾃﾘｱﾙﾘｻｲｸﾙ業者への委託

・廃ﾊﾟﾚｯﾄを合板（ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ）の材料としてﾘｻｲｸﾙする業者への委託

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 2025 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃 酸	廃アルカリ
全処理委託量	0.4 t	5.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	0.0 t	4.7 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.4 t	0.3 t

（これまでに実施した取組）

・マテリアルリサイクル業者への委託

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　2025　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	―	―
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―	―
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（　2025　年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）
	全処理委託量	0.3　t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.3　t
	再生利用業者への処理委託量	0.3　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0　t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0　t
	（これまでに実施した取組） ・ＬＥＤランプへの切替 ・マテリアルリサイクル業者への委託	

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ｶﾞﾗｽ陶磁器屑
全処理委託量	1,347.3 t	2.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	732.8 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	1,239.6 t	1.4 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	107.7 t	0.6 t

（今後実施する予定の取組）

・分別徹底による、廃プラ再生利用業者への委託比率の拡大（焼却処理委託の縮小）

※事務処理欄

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	鉄くず	汚　泥
		全処理委託量	15.6 t	35.8 t
		優良認定処理業者への処理委託量	15.6 t	28.5 t
		再生利用業者への処理委託量	15.6 t	33.2 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	2.5 t
		（今後実施する予定の取組） ・鉄くず再生業者への委託継続の実施 ・汚泥ﾘｻｲｸﾙ業者への委託継続実施（ｾﾒﾝﾄ原料への活用継続）		
	※事務処理欄			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	廃　油	木くず
	全処理委託量	18.2　t	109.6　t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.0　t	109.6　t
	再生利用業者への処理委託量	0.0　t	109.6　t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0　t	0.0　t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	18.2　t	0.0　t
	（今後実施する予定の取組） ・廃油ﾏﾃﾘｱﾙﾘｻｲｸﾙ業者への委託継続 ・廃ﾊﾟﾚｯﾄを合板（ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ）の材料としてﾘｻｲｸﾙする業者への委託継続	
※事務処理欄		

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃　酸	廃アルカリ
全処理委託量	0.4　t	5.5　t
優良認定処理業者への処理委託量	0.4　t	0.0　t
再生利用業者への処理委託量	0.0　t	5.2　t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0　t	0.0　t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.4　t	0.3　t

（今後実施する予定の取組）

・マテリアルリサイクル業者への委託継続

※事務処理欄

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	水銀使用製品産業廃棄物（蛍光灯）	
		全処理委託量	0.3	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.3	t
		再生利用業者への処理委託量	0.3	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t
		（今後実施する予定の取組） ・ＬＥＤランプへの切替 ・マテリアルリサイクル業者への委託		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成する。

2　当該年度の６月３０日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。